



2024年度 リポジトリ担当者の基礎知識研修
(2024年度第2回JPCOAR Webinar)

小規模大学図書館における リポジトリ運用事例紹介

白梅学園大学・白梅学園短期大学図書館 昼間 史

部署勤務歴：1999.11～2003.3
及び2023.5～現在



Shiraume

大学紹介

白梅学園大学 白梅学園短期大学について

- 東京都小平市に所在
(近隣に武蔵野美術大学、津田塾大学)
- 大学子ども学部と短期大学保育科を有する
- 大学院子ども学研究科(修士・博士)もあり
- 学生数は、全体で1,200人弱
- 敷地内に高等学校、中学校、附属幼稚園

白梅学園大学・短期大学図書館 について

- 蔵書数は18万冊強
- 保育学・教育学、心理学、社会福祉学系統を重点所蔵
- 絵本(13,000冊)、紙芝居(950点)
- 専任職員3名(司書資格なし含む)、アルバイト1名と夜間業務委託1名



リポジトリ導入の経緯と運用体制

- 2013年学位規則改正がきっかけ。2014年度から運用開始。開始当初より、JAIRO-Cloudによる運用
- それ以前は、ホームページ上に書誌情報のみ公開している形
- リポジトリメタデータ件数：2,248件（2024.3.31現在）
- 本学刊行物、及び博士論文を登録、公開
- リポジトリ登録作業は、担当図書館職員のみがおこなっている
（現在、継続刊行している本学刊行物は3種類。3月と9月に刊行）
- 年2回のみ作業。とかく前例踏襲で、同じように入力しがち



対応事例① WEKO3への移行時

事前の準備

- ・2023/6/9付けメール：JAIRO Cloud (WEKO3) 本番移行に関してメーリングリストと関連動画のご案内 のリンク先をサラッと確認

移行後、対処が必要となった事項

- ・移行後最初のハーベストで、大量の項目エラーとワーニング発生
- ・著者名の前に表示された、余計な情報
- ・著者名で、フリガナやローマ字表記が表示されていたり、いなかったり



対応事例① WEKO3への移行時

大量の項目エラーとワーニング発生への対処

ハーベスト処理結果の通知メールです。

白梅学園大学・短期大学 学術リポジトリ

BaseURL: <https://shiraume.repo.nii.ac.jp/oai>

前回ハーベスト開始日時: 2023-08-17 15:39:48

前回ハーベスト終了日時: 2023-08-17 15:50:32

ハーベスト対象データ件数: 2200 登録件数: 8 更新件数: 2155 削除件数: 37 データ取得エラー: 0

レコードエラー件数: 0 項目エラー件数: 298 ワーニング件数: 7778 項目変換件数: 0

確認先URL: <https://irdb.nii.ac.jp/usercontents>

メッセージ

ume.repo.nii.ac.jp/records/7

rb=GetRecord&metadataPrefix=jpcoar_1.0&identifier=oai:shiraume.repo.nii.ac.jp:00000007

- 項目登録エラー: 対象項目のみ削除されてアイテムがIRDBに登録されています。
[作成者姓名] 日本語が設定されていません。
- ワーニング: 対象項目のワーニングです。対応項目を含めてアイテムはIRDBに登録されています。
[タイトル] タイトルと言語が一致していません。(jpn->---)
[タイトル] 言語が未設定です。(幼児期における音感受教育 -モノの音・人の声に対する感受の状況と指導法の検討-)
[作成者姓名] 言語が未設定です。(吉永, 早苗)

→日本語が設定されていない、タイトルと言語が一致していない、言語が未設定 など



対応事例① WEKO3への移行時

大量の項目エラーとワーニング発生への対処

→言語設定関連のエラーやワーニングだったので、緊急性はないと判断

※先行移行事例報告で、日英ページの統合について言及されていたため

ハーベストのエラー解消については、今年1月の第4回JPCOAR Webinar「IRDB-カラクリと役割：どこから・どこへ・どのように」での「ハーベストエラー解消の手順」が参考になると思います。

<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/2000350>



対応事例① WEKO3への移行時

著者名の前に表示された、余計な情報

↑ エクスポート

表示順: Create d

■ ケアを担う子ども（ヤングケアラー）についての小平市調査 [公立小中学校の教員を対象にしたアンケート調査] 報告書

ケアを担う子ども（ヤングケアラー）についての小平市調査 [公立小中学校の教員を対象にしたアンケート調査] 報告書

WEKO
1852
森山, 千賀子

森山
千賀子

ISNI
http://www.isni.org/isni/WEKO.522, 午頭, 潤子, 午頭, 潤子, ISNI, http://www.isni.org/isni/
2020-03

Issued
Other

白梅学園大学ヤングケアラー調査研究プロジェクト

pdf

→表示設定の問題らしきことはわかるが、表出状況はさまざま。

対応事例① WEKO3への移行時

著者名の前に表示された、余計な情報

→JPCOAR JAIRO Cloud Community MLアーカイブ

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1T4vO8c6GK8Xa2CJ3aQM0lZvrD6fhpAUC1MaHb2KfR1w/edit?gid=0#gid=0>

を見て、「作成者識別子」が表示される設定になっていることが原因と認識。

→あらためて、JAIRO Cloud (WEKO3) 基本マニュアルを確認し、

アイテムタイプ管理－メタデータ で表示不要な項目は【Hide】に設定し、解決。



対応事例① WEKO3への移行時

著者名の前に表示された、余計な情報

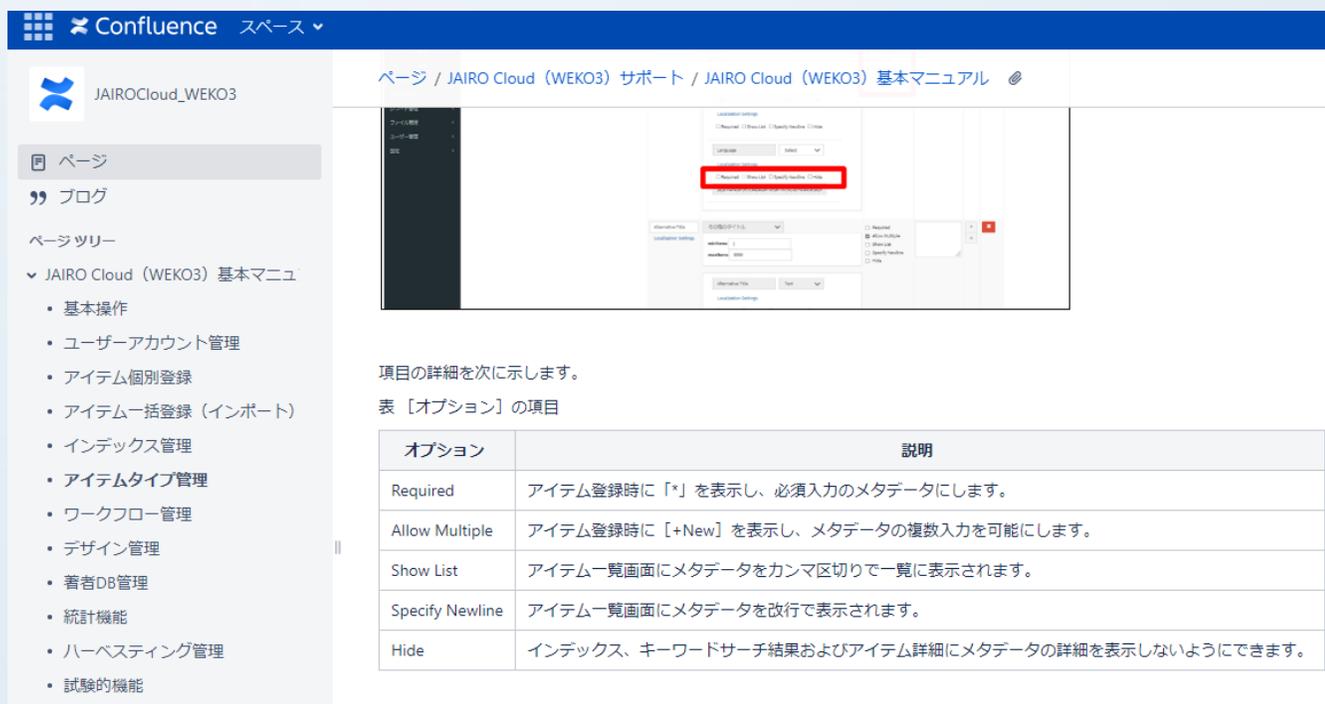
The screenshot shows the WEKO3 Metadata configuration interface. The left sidebar contains a menu with 'アイテムタイプ管理' (Item Type Management) and 'メタデータ' (Metadata) highlighted. A callout box on the left points to the 'メタデータ' menu item, containing the text 'アイテムタイプ管理 - メタデータ'. The main content area shows the configuration for the item type 'Departmental Bulletin Paper'. A callout box on the right points to the 'メタデータ' menu item, containing the text 'アイテムタイプごとに設定'. The configuration page includes sections for '著者' (Author), '作成者' (Creator), and '所属機関識別子' (Institution Identifier), each with 'Localization Settings' and checkboxes for 'Required', 'Show List', 'Specify Newline', 'Hide', and 'Non Display on Detail'.

対応事例① WEKO3への移行時

著者名の前に表示された、余計な情報

JAIRO Cloud (WEKO3) 基本マニュアル

<https://meatwiki.nii.ac.jp/confluence/pages/viewpage.action?pageId=63868507>



The screenshot shows a Confluence page titled "JAIRO Cloud (WEKO3) サポート / JAIRO Cloud (WEKO3) 基本マニュアル". The page content includes a table of options for item details. A red box in the screenshot highlights the "Required" option in the table.

項目の詳細を次に示します。

表【オプション】の項目

オプション	説明
Required	アイテム登録時に「*」を表示し、必須入力のメタデータにします。
Allow Multiple	アイテム登録時に「+New」を表示し、メタデータの複数入力を可能にします。
Show List	アイテム一覧画面にメタデータをカンマ区切りで一覧に表示されます。
Specify Newline	アイテム一覧画面にメタデータを改行で表示されます。
Hide	インデックス、キーワード検索結果およびアイテム詳細にメタデータの詳細を表示しないようにできます。

対応事例① WEKO3への移行時

著者名のフリガナ表記やローマ字表記の表示を改善できない

→著者DB管理を開いてみると、漢字表記、カナ表記、ローマ字表記 がそれぞれ別々で登録されている。かつ、論文ごと毎回新規に登録（著者ID付与）されていたらしい。

→要は、2人目、3人目の作成者として、カナ表記、ローマ字表記が入力され、それが表示されているということ。メタデータの著者IDとの紐づけを修正しなければならないし、著者統合も行う必要がある。

※本来は、移行前に対応できたことがあったのかもしれませんが。



対応事例② 博士論文の登録

エンバーゴ期間があり、本文を後からアップロードすることになった案件

WEKO2で作成済のメタデータに本文ファイルを追加する形で、国立国会図書館に自動提出したい

```
■ 該当アイテムのURL = https://shiraume.repo.nii.ac.jp/records/2116  
https://shiraume.repo.nii.ac.jp/oai?  
verb=GetRecord&metadataPrefix=jpcoar_1.0&identifier=oai:shiraume.repo.nii.ac.jp:00002116
```

● ワーニング：対象項目のワーニングです。対応項目を含めてアイテムはIRDBに登録されています。

[博士論文] 本文URL(全文)がないため、博士論文提出チェックは実行されませんでした。

→過去の登録事例を見ながら、メタデータを修正するも、チェック実行されない。



対応事例② 博士論文の登録

エンバーゴ期間があり、本文を後からアップロードすることになった案件

「WEKO3への移行」は、すなわち「junii2フォーマットからJPCOARスキーマへの変更」である。ということの理解不足により、メタデータの修正に大きく手間取ってしまった。

【IRDB 学術機関リポジトリデータベース サポート】

ハーベスト仕様 <https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/harvest>

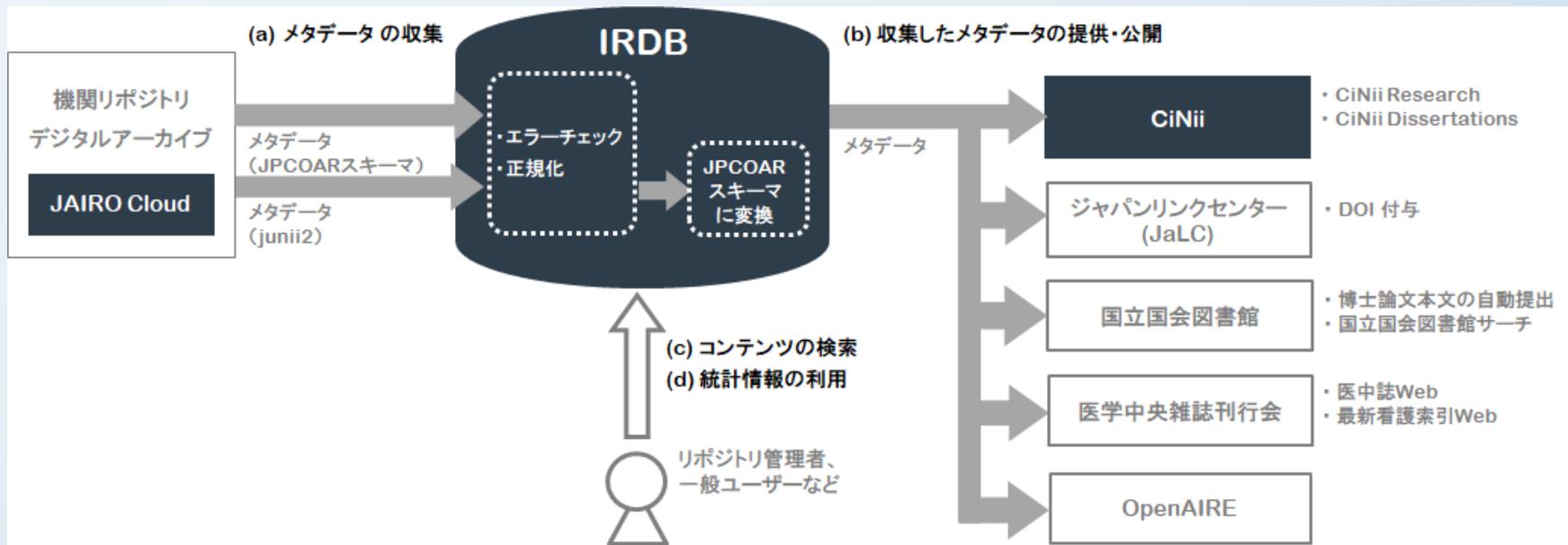
→ objectType属性 = "fulltext" を入力し、無事2024/5/2にハーベスト、2024/6/7にNDL再収集された。



まとめにかえて

はじめに理解しておくべきだったこと

- 何かに対処したいとき、どの部分を探ればよいのかを理解する



→マニュアルやQ&Aはたくさんあるが、一つにまとまっているわけではない



まとめにかえて

小規模大学でのリポジトリ運用、業務構築について

- ・職員数が少ない → 1人の担当業務が多岐にわたる = 広くて浅い
- ・図書館業務の汎用性 → 作業手順をなぞることは比較的容易

にもかかわらず、引継ぎやマニュアルは、作業内容を記したものになりがち
(即日、業務遂行できるようにならなければいけないので、致し方ないが)

小規模な組織での運用だからこそ、全体像や構造の理解と、自館における判断基準を引き継いでいくことを意識することが大切

逆に、前任者までの業務の成り立ちを整理することで、見えてくるものもある



ご清聴ありがとうございました

